

エコアクション21

環境活動レポート

第6版



エコアクション21
認証・登録番号 0004532



大垣市景観遺産

奥の細道むすびの地

対象期間 平成25年10月1日～平成26年9月30日

伊藤鉄工株式会社

発行日 平成26年10月30日

ごあいさつ

社内の今月の目標は、「傍(はた)を楽にする」しぐさである。このコメントには、「その人の働きが世間の役に立ち、世間が楽になるしぐさです。このしぐさは、前工程、在庫管理や共同使用、備品の整理・整頓などを実施し、後工程で使う人が楽になるように工夫するしぐさと言えるのではないのでしょうか（江戸しぐさより）」と記してあります。

この目標を眺めつつ感じることは、働くことの根本命題を言い当てているような気がします。

「働く」とは、「傍を楽にすることだ」と言う人もいます。人が働くことの本来の意義は、生活の糧を得るためだけに働くのではなく、自らが美しい心を育くむためのもの、自らが前進するためのもの、自分自身を磨き幸福にするもの、ひいては社会を健全に発展させるエネルギーではないのでしょうか。

今回、第2次中期計画を終え、EA21の登山口に全社員が集結できたのではないだろうか。私たちは、第3次中期計画を立案するために、当社の企業理念にある『社会の発展に貢献する』ことを目指し、働くことの意義を議論（登山のための体力づくり）しつつ、伊藤鉄工が持続可能な企業として健全に発展していくための「杖」としてEA21活動を登り始めようとしている。

この環境活動レポートは、この様な節目にまとめたものである。

本レポートをご高覧いただき、ご指導ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

平成26年10月27日

今月の目標

伊藤 誠



も く じ

	I.組織の概要	3
	II.対象範囲	4
	III.環境理念・環境方針	4
	IV.環境目標	5
	V.環境活動計画	6
	VI.環境目標と実績	7
	VII.環境活動計画の取組結果とその評価	9
	VIII.次年度の取組内容	12
	IX.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	14
	X.代表者による総合評価	14

奥の細道むすびの地

「蛤(はまぐり)の ふたみに別(わかれ) 行秋(ゆくあき)ぞ」
俳聖松尾芭蕉(はいせいまつおばしょう)がこの地で詠んだ俳諧紀行(はいかいきこう)
「奥の細道」むすびの句です。
元禄2年(1689)3月27日、江戸深川を出発した芭蕉は、門人曾良(そら)とともに奥州(おうしゅう)から北陸を経て、ここ大垣で「奥の細道」の旅を終えました。9月6日には、俳友(はいゆう)の谷木因(たにぼくいん)や近藤如行(こんどうじょこう)ら大垣の俳人たちに見送られ、伊勢神宮の遷宮参拝のため、この船町港(ふなまちこう)から桑名へ舟で下りました。



住吉燈台の跡
この港は、江戸から明治にかけて大垣城下と伊勢を結ぶ運河「水門川」の川港で、一時は蒸気船も就航していた。



船町港の跡



船町中組常夜灯
舟運の安全を祈願して建立したと伝えられている。



I. 組織の概要

- | | |
|----------|------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事業所名 | 伊藤鉄工株式会社 |
| 2. 代表者 | 代表取締役 伊藤 誠 |
| 3. 所在地 | 〒503-0985
岐阜県大垣市野口3丁目1番地7号 |
| 4. 連絡先 | TEL 0584-91-6849 / FAX 0584-93-0075
E-mail heky66@proof.ocn.ne.jp |
| 5. 経営理念 | (1) お客様のご要望に「確かな技術・誠実な対応」で
応え、社会の発展に貢献する。

(2) ものづくりを通して社員の人的成長を図る。 |
| 6. 事業の概要 | マシニングセンター、NC旋盤、ワイヤーカット等で金属部品
(治工具、試作品、金型部品)の加工及びダーツ・バレルの製
造 |
| 7. 事業規模等 | |
| ①創業年月 | 1969年8月(昭和44年) |
| ②資本金 | 3,450万円 |
| ③従業員数 | 12名 |
| ④面積 | 敷地1657.6㎡ 床495㎡ |



伊藤鉄工(株)の変遷

- | | |
|----------------|--------------------------------------------------------------|
| 1969年(昭和44年) | 創業 |
| 1979年(昭和54年) | 伊藤鉄工(株)を設立 |
| 1996年(平成8年) | 地元5社が共同で「大垣テクノメタル協同組合」を
結成し、工業団地として新天地へ移転 |
| 2010年(平成22年)1月 | エコアクション21の認証を取得 |
| 2011年(平成23年)3月 | 認証・登録番号 0004532
第14回環境コミュニケーション大賞の環境活動レ
ポート部門で「奨励賞」を受賞 |





Ⅱ.対象範囲

1. 認証・登録範囲 全社・全組織・全活動
2. 対象期間及び発行日 対象期間：平成25年10月1日～平成26年9月30日
(平成26年度の当社会計年度)
第6版 発行日：平成26年10月28日
3. 環境推進組織
①環境管理責任者 伊藤 誠
②副環境管理責任者 山田 韶月
4. 環境推進組織図
社長/環境管理責任者----全社統括、営業、技術、管理責任者
├副環境管理責任者--環境管理責任者補佐、EA21活動推進事務局、マニフェスト管理
├事務部-----総務、人事、経理
├製造：ダーツ-----ダーツ製造、設備管理、廃棄物管理、緊急事態の準備及び対応
└製造：その他-----その他製造、設備管理、廃棄物管理、緊急事態の準備及び対応
5. 環境活動レポート次期作成予定日 平成27年10月中旬



Ⅲ.環境理念・環境方針

環境理念

伊藤鉄工(株)は金属等の切削加工業者として、地球環境問題が地球上の人類と生命にとって、最重要課題であることを認識し、環境負荷の継続的削減に努め、社会に貢献できる持続可能な企業活動を推進します。

環境方針

環境関連の法規、規制、条例を遵守し、継続的に環境負荷を削減するため、環境マネジメントシステムを構築し運用します。そのために、以下の項目の継続的な改善に全社員で取り組みます。

1. 電気・化石燃料等のエネルギー使用量（二酸化炭素の排出量）の削減に努めます。
2. 環境負荷の低減をめざした生産活動に取り組みます。
3. 廃棄物の再資源化に努めるとともに、廃棄量を削減します。
4. 節水に努め水使用量を削減します。
5. 環境方針を全社員に周知徹底するために、教育・訓練を実施します。

平成26年7月3日
伊藤鉄工株式会社

代表取締役 **伊藤 誠**



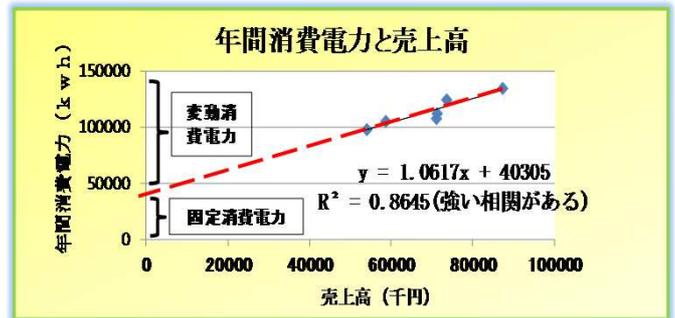


IV. 環境目標

1. 基準値

1) 変動消費電力量と固定消費電力量の基準値

右のグラフのように、過去の売上高をX軸に、年間消費電力量をY軸にグラフ化した場合の相関関係は右図のような回帰直線が描ける。この回帰線とY軸の交点を「固定消費電力量」の基準値とし、交点以上を変動消費電力量とて、回帰線式の勾配部分を「変動消費電力量原単位」の基準値とした。



2) 化石燃料使用量基準値

自動車の燃費 (km/ℓ) の指標は、車の性能に左右されエコ運転の励行にも限界がある。従って、化石燃料削減努力が見えやすい、全車の全走行距離を指標にし、基準値はH23年度とした。

3) 廃棄物 (金属)

当社は材料支給による切削加工業である。従って、金属屑 (切粉) の削減には限界があるため、分別を目標にした。

4) 廃棄物 (水性切削油)

加工機の切削油の交換・廃棄は、年に1~2回である。この状況で年度ごとの廃棄量の集計は意味がない。従って、前年度と今年度の廃棄量の移動平均を指標にし、基準値はH22,23の平均とした。

5) 水使用量の基準値

当社の水の消費は水溶性切削油と社員の生活排水であり、生産活動で日常的には水を使用していない。従って、水使用量は生産高に関係ない部分が多いと判断し、水の使用量 (m³) を指標にした。

2. 削減目標

数値目標を「〇〇パーセント削減しよう」との提示では、毎日の生産活動でどのように取組むかが見えてこない。従って、次のようなスローガン方式にした。但し、目標値に示してある削減パーセントは、年間消費電力量及び年間走行距離及び述べ作業時間から算出した数値である。

- i) 変動消費電力は3年間で2.5%削減：スローガンは「3年間で作業時間を15分短縮」
- ii) 走行距離は3年間で1.8%削減：スローガン「3年間で1日の走行距離を2km短縮」

第2次中期計画年度ごとの目標値

項目	基準値	基準値算出根拠	第2次中期計画最終目標	第2次中期計画年度ごとの目標値			
				H24年度	H25年度	H26年度	
電気エネルギー使用量	変動消費電力量原単位 kwh/売上高(万円)	10.62	H13~H18年度の平均	10.35 2.5%削減	10.53 0.8%削減	10.44 1.7%削減	10.35 2.5%削減
	固定消費電力量 kwh	40,300	H13~H18年度の平均	40,300 以下	40,300 以下	40,300 以下	40,300 以下
化石燃料使用量	走行距離原単位 km/売上高(万円)	3.53	H23年度	3.47 1.8%削減	3.51 0.6%削減	3.49 1.2%削減	3.47 1.8%削減
廃棄物(金属)の分別	金属屑の重量(kg) (参考)	支給材による切削加工のため分別を目指す		分別回収	分別回収	分別回収	分別回収
廃棄物(水性切削油)	水溶性切削油(ℓ)	750	H22,H23の移動平均	750 以下	750 以下	750 以下	750 以下
水使用量の削減	水使用量(m ³)	193	H23年度	193 以下	193 以下	193 以下	193 以下



V.環境活動計画

1. 活動内容

改善活動には、自動化や効率的な段取り化に向けた治具などの開発的な改善と毎日の作業の中で大掛かりな治具等の製作が不要な改善の2種類あると考えている。また、改善して製作したものの維持管理の必要な物がある。当社はこの維持管理に毎月社員が当番制で「改善点検表」の記入を実施している。今年度からは、この点検時に社内を見渡す機会になるため点検項目以外の気付いた項目も記入する方式にした。

従って、環境活動計画で計画した以外の取組みも「取組結果とその評価」の項目で報告する。

2. 環境活動計画

環境目標	取組事項
電気使用量の削減	省エネルギー化
	不要な電気機器の電源OFFの徹底
	天井部水銀灯の日中消灯（7箇所中3箇所及び全灯消灯）
	コンプレッサ及びエアードライヤの点検・整備
	エアコン5台による温度管理と、点検・掃除
	冷暖房効果を上げる為に、二重窓（ビニールカーテン）の点検と活用
	エアコン稼働時間の把握とデータ集計
	グリーンカーテンの活用
	生産性の向上
	ダーツ専用検査ゲージの定期的交換と製作
	ダーツ工程票の活用と見直し
	改善点検票の運用（月1回交代制でチェック）と見直し
化石燃料使用量の削減	5Sによる見える化（安全対策含む）
	共用工具・治具等の見える化
	材料、修理用在庫部品等の見える化
	工場内の空間利用
廃棄物の分別（再生金属）	走行距離の短縮
	走行距離のデータ収集・集計
廃棄物の削減（廃油量）	拡大した取引先地図の作成と見直し
	廃棄物置場及び周辺の定期的に3Sの確認（改善点検票の運用）
水使用量の削減	業者回収後の廃棄置場の整理整頓
	材質表示板作成（新材質の金属屑）
環境教育・訓練の実施	水溶性切削油、油性切削油の適切な交換
	廃油置場及び周辺の定期的に3Sの確認（業者回収後の整理整頓）
	吸着マットの使い方手順の確認（学習会）
	24時間蛇口を止め水道メータで漏水量の測定
	節水呼びかけポスタの活用
	水溶性切削油中の油除去装置の活用
	環境負荷・取組・環境経営マニュアルの見直し
	火災想定の緊急事態訓練実施及びマニュアルの説明
	保全カレンダーの運用
	改善点検票の運用（月1回交代制でチェック）と見直し
グリーン購入環境を考える5Rの推進	生物多様性の情報収集と研修会
	エコ会議の議題表、議事録の作成
	A・B班の一斉エコ活動
	強化月間テーマの掲示（「江戸しぐさ」のテーマを掲示）
	環境に配慮した事務用品の購入
	製品納入時の過剰梱包の抑制
環境を考える5Rの推進	用紙の裏面活用
	廃材利用
	インクカートリッジ、電池の回収ルール
	設備カルテの記載と運用
	使用済み軍手、ウエス等の再利用



VI.環境目標と実績

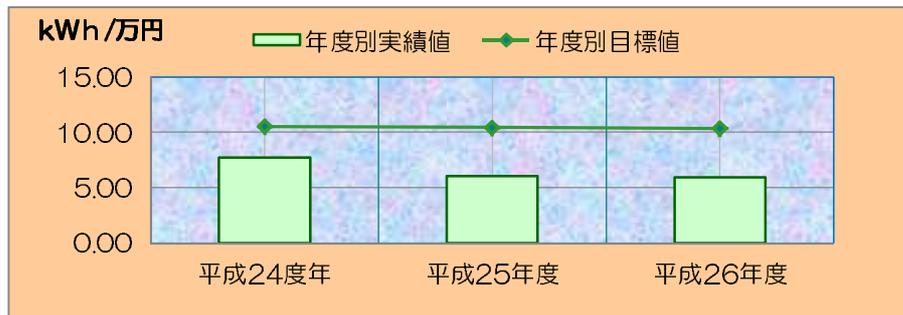
1. 電気使用量の削減

■ 緑色塗りつぶしが本年度の実績値

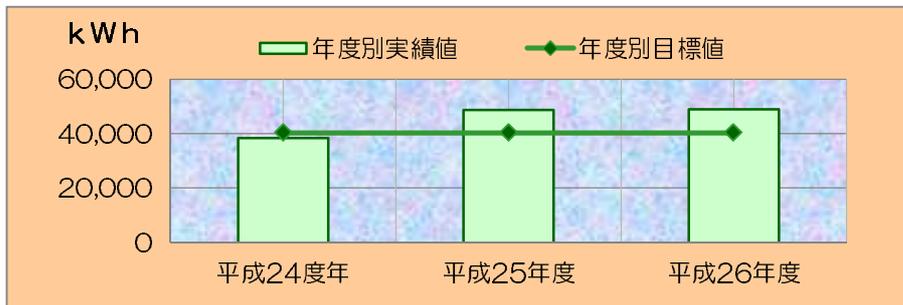
(電気事業者の排出係数は、0.474CO₂/kWhを使用)

項目	基準値	目標	実績 (平成24年度)	実績 (平成25年度)	実績 (平成26年度)
変動消費電力量原単位 kWh/万円	10.62	10.35	7.71 (27.4%向上)	6.03 (43.2%向上)	5.92 (44.2%向上)
固定消費電力量 kWh	40,300	40,300 以下	38,506 (4.5%向上)	48,842 (21.2%悪化)	48,853 (21.2%悪化)

グラフ1 変動消費電力量原単位



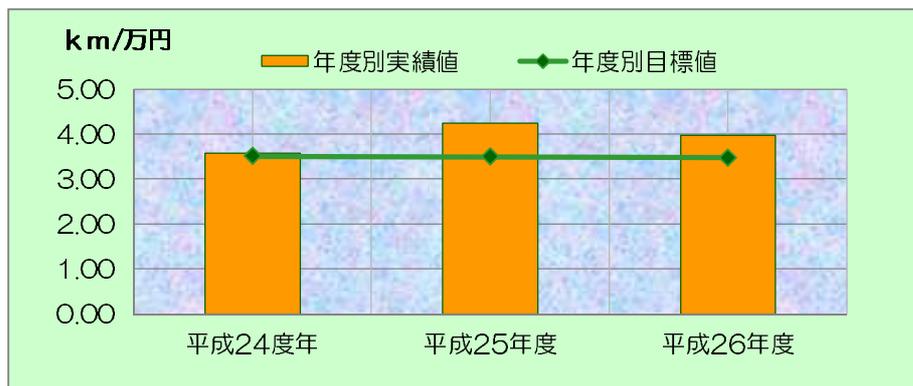
グラフ2 固定消費電力量



2. 化石燃料使用量の削減

項目	基準値	目標	実績 (平成24年度)	実績 (平成25年度)	実績 (平成26年度)
走行距離原単位 km/万円	3.53	3.49	3.57 (1.1%悪化)	4.24 (20.0%悪化)	3.97 (12.5%悪化)

グラフ3 走行距離原単位



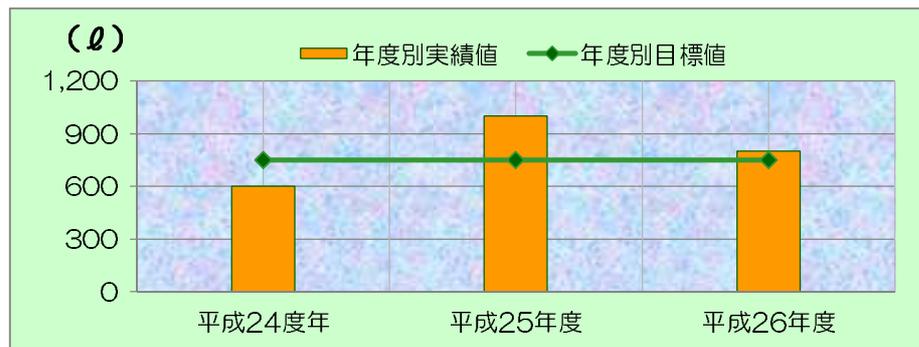
3. 廃棄物の分別（再生金属）

項目	基準値	目標	実績 (平成24年度)	実績 (平成25年度)	実績 (平成26年度)
分別	分別の徹底 100%	分別の徹底 100%	分別の徹底 100%	分別の徹底 100%	分別の徹底 100%
再生金属重量(切粉) (kg) 参考			13,329	13,406	9,289

4. 廃棄物の削減（廃油量）

項目	基準値	目標	実績 (平成24年度)	実績 (平成25年度)	実績 (平成26年度)
廃油量移動平均 (ℓ)	750	750 以下	600	1,000	800 (6.3%悪化)
本年度(単年度)の廃 油量(ℓ) 参考			1,200	800	800

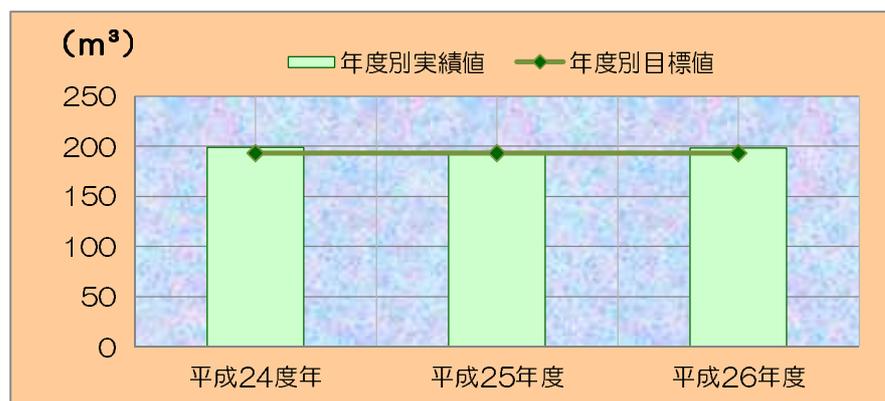
グラフ4 廃油量の移動平均



5. 水使用量の削減

項目	基準値	目標	実績 (平成24年度)	実績 (平成25年度)	実績 (平成26年度)
水使用量 (m³)	193	193 以下	199	194	198 (2.3%悪化)

グラフ5 水使用量





VII.環境活動計画の取組結果とその評価

1. 電気使用量の削減

- : 新規の活動
- : 長期で改善、継続している活動
- : 保全カレンダーの予定に沿った継続活動

行動計画(P)/実施事項(D)	スケジュール				達成状況とその評価 (C.A)	
	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月		
1. 省エネルギー化						
不要な電気機器の電源OFFの徹底					<p>変動消費電力量の指標は、非常に向上している。ただ、左記のような削減実施事項に対して評価が「向上している」といっても信じがたい。</p> <p>継続してデータ取得をしながら指標の信頼度を高めたい。又、EA21活動も地道に活動を継続していきたい。</p> <p>電気使用量の月別変化をグラフ化し工場に掲示し、月ごとの使用電力量が一目で分かるグラフを製作した。本来は、節電効果が見れると良いがとりあえず、節電を意識していただくグラフになるよう継続したい。</p>	
天井部水銀灯の日中消灯（7箇所中3箇所及び全灯消灯）						
コンプレッサの整備						
エアードライヤの整備						
エアコン3台を点検・清掃						
エアコン3台で室温管理						
エアコン3台の点検・清掃						
IP102台を点検・清掃し、室温管理（事務所、食堂）						
冷暖房効果を上げる為に、二重窓（ビニールカーテン）の点検と活用						
エアコン稼働時間の把握とデータ集計						
グリーンカーテンの活用						
南出入口を新聞紙で二重窓化						
電気使用量の月別変化をグラフ化し工場に掲示						
2. 生産性の向上						
ダンプ工程表の活用と見直し					<p>この「生産性の向上」の項目は、今年度新しく取り入れたキーワードである。EA21活動と会社の目指す売上げ向上と一致したキーワードのため今後多くの発想が出てくるのが楽しみです。</p>	
ダンプ専用検査治具の定期的交換と製作						
万力のハンドル破損を修理						
マシニング(OKK)の機械カバーを切断し、取外し可能なカバーを製作						
カムボックスの加工手順書を製作						
オイル缶保管台の製作						
改善点検結果報告票の製作						
3. 5Sによる見える化の安全対策						
共有工具の整理整頓					<p>まだ照明を付けたい所がある。今後も全体照明を節約し部分照明化していきたい。</p>	
材料の整理整頓						
重量物の移動・掃除の効率化						
ラック本体の蛍光管の取替えと掃除						
ラックの外付け蛍光灯の設置						
4. 工場内の空間利用						
マシニングの下に移動可能ヘルダー台を製作					<p>この「空間利用」というキーワードは、発想しやすいキーワードである。今後も狭い当社の工場を効率的に活用したい。</p>	
エアードライヤをコンプレッサの上部に設置						
クレーンの操作スイッチ、磁石、製品台用木材を一つの移動台にして製作						

主な電気使用量削減活

使用電力量の月毎の変化



見栄えが悪いが扉の二重窓化



改善点検結果記入表



3mにもなったよ!



大型材料にも即対処可能



マニッパの下も有効活用



外付け蛍光灯で安全作業



オイル補充も素早く楽々



IPアドレスを空間にセット



2. 化石燃料使用量の削減

1. 走行距離の短縮

走行距離のデータ収集・集計
拡大した取引先地図の作成と
見直し

2. その他の活動

各車両の月別燃費データの収
集・集計
社内・社外でのエコ運転の推
進

車両の燃費という考え方でなく、全車両の合計走行距離短縮を目指す、明確なスローガンで削減したい。

小企業のため単品納入が多く目標値には届かなかった。

3. 廃棄物の分別（再生金属）

1. 材質による分別化

廃棄物置場及び周辺の定期的
に3Sの確認
(改善点検票の運用)
材質表示板作成
(新材質の金属屑)
業者回収後の整理整頓

当社は支給材による加工業のため切粉の削減は困難である。分別化は徹底してきた。不良品の削減と一部の購入材料の在庫減にも目を向けた。

4. 廃棄物の削減（廃油量）

- : 新規の活動
- : 長期で改善、継続している活動
- : 保全カレンダーの予定に沿った継続活動

行動計画(P)/実施事項(D)	スケジュール				達成状況とその評価(C.A)
	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	
1. 水溶性切削油と油性切削油の分別化と廃油量の削減					
廃油置場及び周辺の定期的に3Sの確認（改善点検票の運切粉付着切削油濾過装置の製作で切削油の再利用業者回収後の整理整頓					切削油の適切な交換と水性・油性の分別を継続していく。 また、僅かでも切削油の回収を継続したい。

5. 水使用量の削減

1. 節水の方策と啓発活動

水溶性切削油中の油分除去装置の活用					切削油の適切な交換と節水を継続していく。
節水呼びかけポスタの活用					

6. 環境教育・訓練の実

1. 環境に関する学習と活動

環境への取組の自己チェックを全社員でチェック					消防署員の指導を受けた火災訓練と社員が講師になったの生物多様性の研修会は大変意義ある実線であった。ただ、班活動、エコ会議が予定通りできず残念であった。
火災想定 of 緊急事態訓練実施及びマニュアルの改訂					
改善点検票の運用(月1回交代制でチェック)					
IAアクション会議					
班別の改善活動	時間が取れずできなかった				
生物多様性の研修会					

環境に関する学習と活動

緊張した火災訓練



真剣な知識・技術の共有化

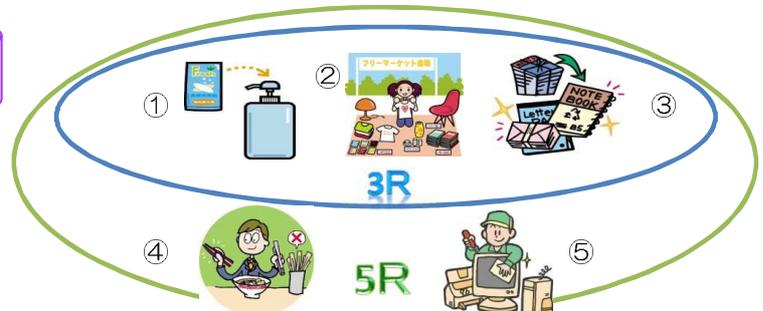


生物多様性を全社員理解する



7. グリーン購入の推進

- ①リデュース：減量、減らす
- ②リユース：再使用、再利用
- ③リサイクル：再生利用
- ④リフューズ：購入拒否
- ⑤リペア：修理



1. 環境を考える5Rの推進

用紙の裏面活用					NC旋盤のオイルタンクの清掃
ゴミの過剰梱包の抑制					
廃材利用（治具、製品見本、棚等）					
インクカートリッジ、電池の回収ルート確立					
機械カルテの記載と運用					





Ⅷ.次年度の取組内容

1. 第2次中期計画のまとめと第3次中期計画

1. 指標の設定

消費電力量の削減量が、エコ活動によってより効果が現れやすい指標を目指して、売上高に比例する変動消費電力量原単位と固定消費電力量に分けてデータ収集をしてきた。

また、化石燃料使用量の削減は、車両ごとの燃費では車両の性能に大きく依存し私たちのエコ運転では削減努力に限界を感じた。従って、エコ運転は継続しつつ当社全車両の合計走行距離の短縮に視点を置いた走行距離原単位でデータ収集をしてきた。

いずれもデータ取得数が3年間であるため、指標は変更せず継続してデータ収集をしていくことにする。

2. 削減率

「削減率は〇〇パーセントです。」これでは、削減努力をどうすればよいか「雲をつかむ」話である。具体的に示せるように次のようなスローガンに置き換えた。削減パーセントは、このスローガンから年間消費電力量及び年間走行距離及び述べ操業時間から算出した数値である。

①変動消費電力量は、「3年間で1日15分相当の作業時間を短縮しよう」：3年間で2.5%削減

②走行距離は、「3年間で1日2kmの走行距離を短縮しよう」：3年間で1.8%削減

その他の項目は、現状に合わせて次のようにしている。

③金属屑（切粉）は、当社の場合支給材加工が本業のため切粉の分別を目標にしてきた。ただ、参考データとして年間総廃棄重量のデータは収集している。

④水溶性廃棄物は、機械の水溶性切削油が主な排出源である。年によっては、零(0)の時もあり年ごとの変動が大きい。従って前年度と該当年度の移動平均の実績値を指標にしている。

⑤水使用量は、主な排出源は前記した機械の切削油と社員の生活排水である。従って、実績値を指標にしている。

いずれもデータ取得数が3年間であるため、削減率は継続してデータ収集をしていくことにする。ただ、第2次中期計画で向上している項目のみ、3年間の平均値を第3次中期計画の基準値とする。

平成27年度以降の目標値は次の表ようになる。

平成27年度以降（第3次中期計画）の目標値

項目		基準値	基準値算出根拠	第3次中期計画最終目標	第3次中期計画年度ごとの目標値		
					H27年度	H28年度	H29年度
電気エネルギー使用量	変動消費電力量原単位 kwh/売上高(万円)	6.55	H14～H16年度の平均	6.39 2.5%削減	6.50 0.8%削減	6.46 1.7%削減	6.39 2.5%削減
	固定消費電力量 kwh	40,300	H13～H18年度の平均	40,300 以下	40,300 以下	40,300 以下	40,300 以下
化石燃料使用量	走行距離原単位 km/売上高(万円)	3.53	H23年度	3.47 1.8%削減	3.51 0.6%削減	3.49 1.2%削減	3.47 1.8%削減
廃棄物(金属)の分別	金属屑の重量kg (参考)	支給材による切削加工のため分別を目指す			分別回収	分別回収	分別回収
廃棄物(水溶性切削油)	水溶性切削油(ℓ)	750	H22,H23の移動平均	750 以下	750 以下	750 以下	750 以下
水使用量の削減	水使用量(m3)	193	H23年度	193 以下	193 以下	193 以下	193 以下

3. その他エコ活動・取組の主な改善項目

下記項目は、第2次中期計画最終年度(H26年度)に取り入れた取組みである。この取組みについても継続して取り組んでいく。

(1) 環境への取組の自己チェックリスト

環境への取組の自己チェックリストの記入を、本年度より全社員が記入し、集計は、平均値を採用する。

(2) 社員による研修会

今年度生物多様性についての研修会を実施する。今後も、社員のプロジェクトチームを組むなどして必要なテーマについて調べ研修会方式で発表・報告するシステムが出来ることを期待したい。

(3) 月ごとの消費電力量のグラフの掲示

次年度は、過去2年間の月ごとの消費電力量のグラフを掲示し、該当年度の消費電力量をシールと紙テープなどで表示し、社員の節電効果が見えるようにしていく。

(4) 改善点検結果報告表の掲示

改善点検表を月1回交代制でチェック（過去に改善した設備等が整理・整頓・維持管理されているかどうかのチェック）と見直しをしている。これらの報告を、掲示した「改善点検結果報告表」に再度記入し全社員で整理・整頓・維持管理するようにした。

(5) 「江戸しぐさ」の小型版

社員の今月の目標標語に「江戸しぐさ」を工場内に大きく掲示している。ただ、ただ平常時も意識できるように小型の今月の目標標語板を製作し、トイレを含め各所に掲示する。

2. 次年度の取組

環境目標	取組事項
電気使用量の削減	省エネルギー化
	不要な電気機器の電源OFFの徹底
	天井部水銀灯の日中消灯（7箇所中3箇所及び全灯消灯）
	コンプレッサ及びエアードライヤの点検・整備
	エアコン5台による温度管理と、点検・掃除
	冷暖房効果を上げる為に、二重窓（ビニールカーテン）の点検と活用
	エアコン稼働時間の把握とデータ集計
	電気使用量の月別変化をグラフ化し工場に掲示
	グリーンカーテンの活用
	生産性の向上
	ダーツ専用検査ゲージの定期的交換と製作
	ダーツ工程票の活用と見直し
	改善点検票の運用（月1回交代制でチェック）と見直し
改善点検結果報告表の活用	
エコ会議議題「知識・技術の共有化」の活発化	
5Sによる見える化（安全対策含む）	共用工具・治具等の見える化
	エコ会議議題「整理・整頓の具体的方法」の活発化
	材料、修理用在庫部品等の見える化
	工場内の空間利用
化石燃料使用量の削減	走行距離の短縮
	走行距離のデータ収集・集計
廃棄物の分別（再生金属）	各車両の月別燃費データの収集・集計
	廃棄物置場及び周辺の定期的に3Sの確認（改善点検票の運用）
廃棄物の削減（廃油量）	業者回収後の廃棄置場の整理整頓
	材質表示板作成（新材質の金属屑）
水使用量の削減	水溶性切削油、油性切削油の適切な交換
	廃油置場及び周辺の定期的に3Sの確認（業者回収後の整理整頓）
環境教育・訓練の実施	吸着マットの使い方手順の確認（学習会）
	節水呼びかけポスタの点検と活用
	水溶性切削油中の油除去装置の活用
	環境負荷・取組・環境経営マニュアルの見直し
	火災想定の際急事態訓練実施及びマニュアルの説明
	保全カレンダーの運用
グリーン購入環境を考える5Rの推進	改善点検票の運用（月1回交代制でチェック）と見直し
	エコ会議の議題表、議事録の作成
	A・B班の一斉エコ活動
	強化月間テーマの掲示（「江戸しぐさ」のテーマを掲示）
	環境に配慮した事務用品の購入
製品納入時の過剰梱包の抑制	
用紙の裏面活用	
廃材利用	
インクカートリッジ、電池の回収ルールの運用	
設備カルテの記載と運用	
使用済み軍手、ウエス等の再利用	



Ⅸ.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 遵守状況の確認及び評価の結果

主な法規	要 求 事 項	最終改正年月日	評価結果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	保管基準、看板記載事項、運搬・処分委託、委託契約書、マニフェスト、焼却の禁止	平成26年6月3日 法律第69号	○
大垣消防組合火災予防条例	貯蔵及び取扱の技術上の基準等、火を使用する設備等の届け出、煙等を発するおそれのある行為等の届出	平成26年3月27日 消防組合条例第3号	○
労働安全衛生規則	ルーフ作業制限、玉掛け作業制限、アーク・ガスによる溶接及び溶断に係わる就業制限、切削砥石就業制限	平成26年8月25日 厚生労働省令第101号	○
一般高圧ガス保安規則	溶解充填装置の管理等、酸素ガス容器置場、液化炭酸ガス容器置場、その他消費に係わる技術上の基準	平成26年5月30日 経済産業省令第30号	○
岐阜県公害防止条例	特定施設の設置の届出（施設の種類：走行クレーン）	平成12年3月24日 条例第2号	○
水質汚濁防止法	事故時の措置	平成26年6月18日 法律第72号	○
特定製品に係わるフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	第一種特定廃棄物実施者の引渡義務：エアコン廃棄	平成25年6月12日 法律第59号	○
顧客要求事項	イビデングリーン調達ガイドライン（第3版）	2014年9月	○
工業団地協定	敷地の5%緑地、油水分離槽（雨水）の設置	平成8年	○

以上、最新の法律に基づき正しく遵守していることを確認しました。

2. 違反、訴訟等の有無

当社における周辺住民からの苦情及び環境関連法規等への違反、訴訟は過去3年間ありません。



X.代表者による総合評価

今年度は、仕事が忙しくエコ活動の時間を十分に取ることが出来ませんでした。グリーンカーテンなど前年度の経験を基にうまく作ることが出来ました。PDCAを繰り返し、より効率的なエコアクション活動をしていただきたいと思います。